



2022年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 ナレッジスイート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3999 URL https://ksj.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 稲葉 雄一
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役執行役員（氏名） 柳沢 貴志（TEL）03-5405-8120
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績（2021年10月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益合 計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	2,395	35.6	90	—	79	—	77	—	76	—
2021年9月期第3四半期	1,766	11.2	△121	—	△128	—	△133	—	△130	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭		円 銭							
2022年9月期第3四半期	14.92		14.80							
2021年9月期第3四半期	△25.91		△25.91							

(注) 2021年9月期第3四半期連結会計期間において実施した株式会社D×クラウドとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定が行われたことに伴い、2021年9月期第3四半期連結累計期間の数値を遡及修正しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	3,468	984	984	28.4
2021年9月期	3,266	898	898	27.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年9月期	—	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,157	25.2	117 ～136	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年9月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年9月期3Q	5,162,300株	2021年9月期	5,161,100株
2022年9月期3Q	143株	2021年9月期	143株
2022年9月期3Q	5,161,959株	2021年9月期3Q	5,137,309株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイト同日開示しています。また、2022年8月24日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日資料する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載します。

—

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大がワクチン接種率の増加等によって一時的に抑制されたものの、新たな変異株の流行による第7波への警戒が高まっており、またウクライナ情勢や急激な円安の進行等により、依然として経済活動の先行きは不透明な状況となっております。

一方で新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークが拡大し、デジタルトランスフォーメーション(DX)への機運の高まりによる営業DX化が中堅・中小企業においても徐々に浸透してきており、また生産労働人口の減少に伴うIT人材不足への懸念が増している状況において、当社グループの提供サービスへの需要は、より一層高まっているものと認識しております。

このような状況下において、当社グループは「Change The Business～中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献する～」をパーパスに、「脳力をフル活用できる世界へ。」をビジョンに掲げ、2022年9月期を初年度とする「中期経営計画2024」の達成に向けた成長戦略である「事業収益(シェア)拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を推進してまいりました。

具体的には、企業の売上・生産性向上への貢献を可能にする統合型SFA/CRMクラウドサービス「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」を中心とした中堅・中小企業向けSaaSシェア拡大、サブスクリプションビジネス拡大のため、営業100名体制へ向けた採用及び新人育成強化、サービス利用継続を促進するカスタマーサクセス強化を実施し、当社グループが提供するSaaSを含めたグループSaaS MRR(※1)は、2022年3月末時点でSaaS事業の安定性と市場における成長性をみる一つの基準となるSaaS MRR 1億円を達成(SaaS ARRは12億円(※2)を達成)しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は2,395,416千円(前年同期比35.6%増)、営業利益は90,501千円(前年同期は営業損失121,132千円)、税引前四半期利益は79,748千円(前年同期は税引前四半期損失128,278千円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益77,000千円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失133,100千円)となりました。なお、前第3四半期連結会計期間において実施した株式会社DXクラウドとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定が行われたことに伴い、前第3四半期連結累計期間の数値を遡及収修正しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当第3四半期連結累計期間においては、販売パートナーの深耕活動及び新規開拓活動による拡販支援、全国の展示会への出展に伴う営業対応の強化を図るなど効率的なマーケティング・プロモーション活動を継続し、リード(見込み顧客)の獲得増(前年同期比14.2%増)につながったことで、オンライン・オフライン問わず商談件数が増加し、契約件数(※3)は2,553件(前年同期比15.4%増)となりました。

また、「Knowledge Suite」と高い相乗効果を発揮するBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド」等、グループ会社が提供するサービスの同時提案やクロスセルといった取り組みを含め新人営業への教育・育成が進み、MRR(※4)が増加したことで、ARR(※5)は861百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

これらの結果、売上収益は1,079,847千円(前年同期比67.6%増)、セグメント利益は178,001千円(前年同期はセグメント利益18,351千円)となりました。

- ※1 グループSaaS MRR: 2022年3月末時点のOEM提供SaaS売上及びグループ会社が提供する「InCircle」「B Suite」SaaS売上を含めたもの。MRRはMonthly Recurring Revenue。月間経常収益
- ※2 2022年3月末時点のSaaS MRR(OEM及び「InCircle」「B Suite」含む)の12倍で算出。
ARRはAnnual Recurring Revenue。年次経常収益
- ※3 四半期末時点のSaaS MRR(OEM及び「InCircle」「B Suite」除く)契約件数
- ※4 四半期末時点のSaaS売上(OEM及び「InCircle」「B Suite」除く)
- ※5 四半期末時点のSaaS MRR(OEM及び「InCircle」「B Suite」除く)の12倍で算出

② BPO事業

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復を継続し、高いIT人材需要を背景に営業強化を進めたことで、SES(システムエンジニアリングサービス)派遣先プロジェクト

への増員ニーズ及びエンジニア稼働率の増加等により、SES売上収益は前年同期比23.9%増となりました。

これらの結果、売上収益は1,315,568千円(前年同期比17.2%増)、セグメント利益は167,492千円(前年同期比7.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,346,992千円となり、前連結会計年度末に比べ213,332千円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物の増加170,595千円、営業債権及びその他の債権の増加38,018千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は2,121,875千円となり、前連結会計年度末に比べ10,893千円減少しました。これは主に、無形資産の増加180,735千円、その他の金融資産の減少111,857千円、使用権資産の減少77,908千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,468,867千円となり、前連結会計年度末に比べ202,438千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は1,351,526千円となり、前連結会計年度末に比べ88,915千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加107,084千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は1,132,914千円となり、前連結会計年度末に比べ27,720千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加92,678千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,484,441千円となり、前連結会計年度末に比べ116,636千円増加しました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は984,425千円となり、前連結会計年度末に比べ85,802千円増加しました。これは主に、四半期純利益の増加77,000千円によるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間に欠損填補として396,735千円を資本剰余金から利益剰余金へ振替えております。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増加し、28.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期通期の連結業績予想につきましては、2021年11月12日に公表いたしました「中期経営計画2024-事業計画及び成長可能性に関する事項-」のとおり、2022年9月期を初年度とする「中期経営計画2024」の達成に向けて、成長戦略である「事業収益(シェア)拡大」及び「プロダクト・サービスの強化」を推進し、DX事業セグメントの売上収益は1,518百万円(前年同期比54.7%増)、連結売上収益は3,157百万円(前年同期比25.2%増)を計画しております。利益面につきましては、中期経営計画の達成に向けた成長戦略に基づき、コロナ禍における経済動向や事業環境、投資機会を勘案した機動的かつ柔軟な先行投資を継続するため、投資家の皆様に対してより有用かつ合理的な情報提供を行う観点から、レンジ方式による通期業績予想開示を採用しており、営業利益117~136百万円(前連結会計年度は営業損失108百万円)を計画しております。

なお、上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、感染症収束に伴う経済活動の回復に要する期間等の様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		678,449	849,045
営業債権及びその他の債権		382,269	420,288
棚卸資産		1,054	1,041
未収法人所得税等		1,430	5,156
その他の流動資産		70,455	71,460
流動資産合計		1,133,659	1,346,992
非流動資産			
有形固定資産		56,238	50,712
使用権資産		300,474	222,566
のれん		674,764	678,426
無形資産		819,444	1,000,179
その他の金融資産		201,732	89,874
繰延税金資産		80,114	80,114
非流動資産合計		2,132,769	2,121,875
資産合計		3,266,428	3,468,867

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	164,488	159,653
契約負債	34,957	36,014
有利子負債	749,470	856,554
リース負債	129,368	114,528
未払法人所得税	8,980	4,725
その他の流動負債	175,345	180,050
流動負債合計	1,262,611	1,351,526
非流動負債		
有利子負債	909,880	1,002,559
リース負債	157,247	92,184
引当金	36,498	36,603
繰延税金負債	1,566	1,566
非流動負債合計	1,105,193	1,132,914
負債合計	2,367,804	2,484,441
資本		
資本金	700,501	700,696
資本剰余金	644,937	257,704
利益剰余金	△451,923	28,750
自己株式	△192	△192
その他の資本の構成要素	5,301	△2,533
親会社の所有者に帰属する持分合計	898,623	984,425
資本合計	898,623	984,425
負債及び資本合計	3,266,428	3,468,867

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	1,766,485	2,395,416
売上原価	1,089,548	1,366,231
売上総利益	676,937	1,029,185
販売費及び一般管理費	808,147	965,032
その他の収益	11,680	27,532
その他の費用	1,602	1,183
営業利益 (△は損失)	△121,132	90,501
金融収益	4	3
金融費用	7,150	10,757
税引前四半期利益 (△は損失)	△128,278	79,748
法人所得税費用	4,822	2,747
四半期利益 (△は損失)	△133,100	77,000
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△133,100	77,000
四半期利益 (△は損失)	△133,100	77,000
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△25.91	14.92
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△25.91	14.80

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益 (△は損失)		△133,100	77,000
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融商品		2,615	△896
その他の包括利益合計		2,615	△896
四半期包括利益		△130,484	76,104
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		△130,484	76,104
四半期包括利益		△130,484	76,104

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2020年10月1日残高	681,106	647,594	△338,102	△192	2,685	993,091	993,091
四半期利益(△は損失)	—	—	△133,100	—	—	△133,100	△133,100
その他の包括利益	—	—	—	—	2,615	2,615	2,615
四半期包括利益合計	—	—	△133,100	—	2,615	△130,484	△130,484
新株の発行	3,065	3,065	—	—	—	6,130	6,130
株式報酬取引	16,330	△8,824	—	—	—	7,505	7,505
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	19,395	△5,759	—	—	—	13,635	13,635
2021年6月30日残高	700,501	641,834	△471,202	△192	5,301	876,241	876,241

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2021年10月1日残高	700,501	644,937	△451,923	△192	5,301	898,623	898,623
四半期利益(△は損失)	—	—	77,000	—	—	77,000	77,000
その他の包括利益	—	—	—	—	△896	△896	△896
四半期包括利益合計	—	—	77,000	—	△896	76,104	76,104
新株の発行	195	195	—	—	—	390	390
株式報酬取引	—	9,307	—	—	—	9,307	9,307
利益剰余金への振替	—	—	6,938	—	△6,938	—	—
欠損填補	—	△396,735	396,735	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	195	△387,233	403,673	—	△6,938	9,697	9,697
2022年6月30日残高	700,696	257,704	28,750	△192	△2,533	984,425	984,425

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 注記 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△128,278	79,748
減価償却費及び償却費	167,781	223,864
金融収益	△4	△3
金融費用	7,150	10,757
投資有価証券売却益	—	△20,847
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△815	12
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△54,630	△38,018
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△88,792	△4,835
契約負債の増減額 (△は減少)	△778	1,057
その他	24,461	9,005
小計	△73,907	260,740
利息の受取額	4	3
利息の支払額	△7,356	△9,540
法人所得税の支払額	△1,429	△20,129
法人所得税の還付額	13,110	8,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,578	239,313
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,665	△3,788
無形資産の取得による支出	△280,600	△299,019
投資有価証券の売却による収入	—	122,447
保険積立金の解約による収入	—	13,723
子会社の取得による支出	△299,990	—
その他	24,751	△4,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△586,505	△171,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	237,400	△12,294
長期借入れによる収入	597,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△146,777	△138,265
リース負債の返済による支出	△88,358	△97,282
株式の発行による収入	6,130	390
財務活動によるキャッシュ・フロー	605,394	102,548
現金及び現金同等物の増加額	△50,689	170,595
現金及び現金同等物の期首残高	748,860	678,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	698,171	849,045

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

	(単位：千円)				
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	644,328	1,122,157	1,766,485	—	1,766,485
セグメント間の売上収益	855	86,556	87,411	△87,411	—
合計	645,183	1,208,713	1,853,896	△87,411	1,766,485
セグメント利益 (△は損失)	18,351	155,723	174,074	△295,206	△121,132
金融収益					4
金融費用					7,150
税引前四半期利益 (△は損失)					△128,278

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

	(単位：千円)				
	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	1,079,847	1,315,568	2,395,416	—	2,395,416
セグメント間の売上収益	8,070	75,844	83,915	△83,915	—
合計	1,087,917	1,391,413	2,479,331	△83,915	2,395,416
セグメント利益 (△は損失)	178,001	167,492	345,493	△254,991	90,501
金融収益					3
金融費用					10,757
税引前四半期利益 (△は損失)					79,748

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益 (△は損失) は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。